

中島音頭 ガラシヤ 作詞保智 博

サーヤーハー エーエンヤレ

昔かし 昔かしの その昔かし * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 戦いばかりの その頃ノイナ

安土 桃山 時代に生きた

ア 細川 ガラシヤ ノイナイお話を * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

娘盛りは 十六の * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 明智の姫は タマコと言いな

二月に咲くのが 梅の花ナイナ

見目麗しく 尚賢くて

ア 父の教えワイナイ 優しく 温かく * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

時の天下は 信長公 * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 京の守護職 任されてイナ

諸国の兵を 打ち揃えイナ

ア 一際 目立つ 若衆が 細川の * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

忠興さんも 十六で * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 信長公の 計らいでイナ

忠興 玉子の 縁談ガイナ

似合い 揃うた ひな人形イナ

ア 五人の子供にナエ 恵まれました * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

月にむら雲 花に風 * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 信長公や 父光秀も

本能寺や 大山崎で

散りて はかない 世の習いな

ア 秀吉大阪城にて 露と消え

サーヤーハー エーエンヤレ

家康率いる 東軍と * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ、大阪方の西軍がイナ

天下分け目の関が原イナ

人の 生きるは 幸せなれど

ア イエスの教えにナエ 導かれて * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

授かる 名前が ガラシヤさん * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 屋敷を囲む軍勢にナ

戦を無くすが 女の願い

白装束に 身を包みナ

ガラシヤ 召されてイナエ イエスの元え * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

今に残る その詩は * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 散ぬべき 時知りてこそ 世の中の

花も花なれ 人も人なれ * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)

サーヤーハー エーエンヤレ

ガラシヤの 菩提は 崇禎寺 * 掛け声(ソラ エンヤトセ)

イヤ 四百年の その昔より

語りつないだ 中島音頭

ア 人々の心は 優しく 温かく * 掛け声(ソラ ヨーイヨイサ・ヨイヤラセ)